

総会特集

香川県保険医協会会報

発行所
香川県保険医協会
 〒760-0057 高松市旅籠町14番地8
 TEL 087(802)1335
 FAX 087(802)1336
 e-mail:kkyoukai@kagawahik.com
 発行人 **太田展生**
 定価200円(会員の購読料は会費に含まれています)

第41回 定期総会次第

日時: 2022年6月12日(日)
 13:00 ~ 14:30
 場所: ホテルマリンパレスさぬき
 瀬戸の間
 高松市福岡町2-3-4

【総会】

- 一、2021年度活動報告
- 一、2021年度決算報告・監査報告
- 一、2022年度活動計画(案)
- 一、2022年度予算(案)
- 一、会則の一部改定の件
- 一、採決
- 一、新役員選出
- 一、総会決議採択

【記念講演】

15:00~16:30 (WEB開催予定)
 講師: 中村 洋之 先生
 (坂出市立病院副院長)
 演題: 「新型コロナ感染症」の現状

2022年度

第41回 定期総会議案

総会のご挨拶

香川県保険医協会 理事長 太田展生

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、国連憲章や国際法を乱暴に破ったロシアのウクライナ侵略が続いています。ウクライナでは国土施設が破壊された上、ごみを含む多くの尊い人命が失われて、世界の経済が混乱しています。日本ではアベノミクスの持続が加わって円安が進行し、GDPの低下、物価高に拍車がかかり、国民生活はさらに苦しい状況になっています。医療機関の厳しい状況が続いています。岸田政権は国民の声に押されて「コロナ禍の経済援助、子育てや教育援助等の施策を行っています。極めて不十分です。」

岸田政治の問題点は第一にロシアの侵略や核威嚇、中国・北朝鮮の動きを口実に、米国の圧力のもとで、指揮統制機能を含む「反撃能力」の保有を求めて6兆円にも及ぶ軍事費拡張を企み、日本維新の会の後押しも得て米国の核共有も目指していることです。その状況での酷さは、沖縄の現状が物語っています。また経済安保法の成立による科学技術の軍事利用拡大にも要注意です。第二に軍事拡張の下で社会保障削減への圧力を強めており、75歳以上の窓口負担の二倍化、年金の負担増と支給減、医療介護保障の負担増、公的病院のベッド削減を計画しています。また厳しい医療状況の中でも診療報酬を上げず医療改善を進めています。第三に、大企業の内部留保金等大資本への課税を増やさず、消費税の削減をしない政策の実行。第四に地球温暖化問題への酷い対応です。石炭火力をいまだに進め、原子力発電再開も進めながら自然エネルギー対応が極めて遅れています。最後に、これらの政策の帰結として憲法9条緊急事態条項の追加等憲法改定を計画しており、これは国民の権利縮小と戦争への道へ繋がります。ロシアの侵略を中止させるには、多くの人命を失わせ、核兵器使用の可能性も強める武力対武力の拡大ではなく、国際世論の拡大によって止めなければなりません。紛争解決に武力主体の対応は、憲法9条を持つ日本がとるべき道ではありません。健康と命を守ることを使命としている私たちは、このことを確認し、日本国憲法を守りましょう。

今年7月に参議院選挙があります。岸田政権と、それに同調する勢力の議席を減らし、医療と社会保障の改善のために出来る限り行動しましょう。保険医協会は、政治の在り方を考えながら、「コロナ問題、日常診療の向上、社会保障と医療保障の充実、憲法擁護」に取り組んで行きます。保険医協会の拡大強化のために、先生方の一層の協力と奮闘をお願いいたします。

二〇二二年度 活動報告

開業医の経営と国民医療を守る活動

- ・ 声明、談話、抗議文
- 2021年5月、香川選出衆参国會議員に「75歳以上の医療費窓口負担2割化」は少なくとも国会での審議・採決は止め、コロナ対応に集中することを求める要望書を送付した
- 6月、談話「75歳以上の医療費窓口負担2割化」に厳しく抗議しますを発売
- 10月、声明「マイナンバーカードの健康保険証利用について」を発売
- 10月、季節性インフルエンザワクチンの積極的な接種推奨と費用補助を求める要望書を県知事あてに提出
- 12月、声明「愛媛県知事の伊方原発3号機再稼働同意に抗議します」を発売
- 2022年1月、国民健康保険料(税)に関する要望書を県下自治体首長宛に送付した
- 2月、県知事宛「新型コロナウィルス感染症から県民のいのちと健康を守るため、医療・歯科医療、介護・障害者福祉の確保を求める要請書」を提出
- 2月、補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への自治体による制度拡充を求める要請書を県下自治体首長宛に提出
- ・ 署名活動
- 2021年9月、疲弊した医療提供体制を立て直す診療報酬改定を求める

医師・歯科医師要請署名に取組み、関係省庁と県選出国會議員に提出した

○ 9月、次期改定に向けて、金バラ「逆ザヤ」の抜本的な解消を求める要請署名を関係省庁と県選出国會議員に提出した

○ 9月、保険で良い歯科医療を求める請願署名1145筆を集め、県選出国會議員を通じて衆参議長あてに提出した

○ 12月、疲弊した医療提供体制を立て直す診療報酬改定を求める医師・歯科医師要請署名に取組み、関係省庁と県選出国會議員に提出した

○ 2022年2月4月、75歳以上窓口負担2割化中止署名1159筆を集め、県選出国會議員を通じて衆参議長あてに提出した

○ 4月、厚労大臣に緊急要請「2022年度診療報酬改定に伴う届出期限の延長等を緊急に求めます」を送付した

・ アンケート・調査活動

○ 2021年6月、医科開業会員アンケート

○ 10月、インフルエンザ予防接種・費用補助に関する基礎調査

○ 10月、2021年解散総選挙に向けた政党、候補者アンケートを実施し、協会ホームページで結果を紹介した

染の広がりで、昨年度に続き会議等が持つことができなかった。

・ ワクチン接種の無料接種制度の拡充

香川県に対して各種ワクチン接種無料化の制度創設・拡充を求めた。

・ 軽度・中度難聴者の補聴器購入費用補助を求め、県下自治体首長に要望書を送付した。

諸団体との協力・共同の活動

- ・ 県社会保障推進協議会 副会長、事務局次長選出団体として、協議会の運営のため積極的に役割を果たした。自治体キャリアパンや県当局との交渉・懇談など、加盟団体や関係団体とともに取り組んだ。また、定例の早朝駅頭宣伝に事務局を中心として参加した。
 - ・ 香川の教育を良くする県民会議 定例幹事会に出席し教育関係団体、市民団体と交流を図った。県教育委員会への要請を参加した。
 - ・ 原発をなくす香川の会 定例の幹事会に出席し、意見交換と学習を行った。また、署名の取組みや集會に協力した。
- 社保活動・審査、指導、監査対策、点数改定対策**
- 新型コロナ感染症拡大の下、疲弊した医療現場の立て直しと喫緊の課題とされる中、診療報酬改定が行われた。改定率は本体+0.43%、全体での改定率は▲0.94%であった。本体+0.43%は前回改定の本体+0.55%

よりも低くなった。歯科では2018年度の改定率+0.69%、2020年度の+0.59%を大きく下回る+0.29%となった。

補助金を含めても医療機関全体がコロナ前の経営水準に戻っていないことは、昨年11月の「医療経済実態調査」の結果で示されていた。このような改定率ではコロナ以前に回復することは困難であり、疲弊した医療現場の改善には程遠いものとなった。

今回改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

合計 期首：638名、到達633名(実増▲5名)

感染防止のためZoom併用による開催となった。(活動日誌参照)

歯科部会を定期開催した。

補助金を含めても医療機関全体がコロナ前の経営水準に戻っていないことは、昨年11月の「医療経済実態調査」の結果で示されていた。このような改定率ではコロナ以前に回復することは困難であり、疲弊した医療現場の改善には程遠いものとなった。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

今年改定の基本方針では、コロナ感染対策を重点的課題と位置付けたにもかかわらず、感染防止対策の特例は廃止し、PCR検査等の評価を引き下げた。抜本的な診療報酬の引き上げが必要であり、今後の変異株への対応や新興感染症に十分な対応が可能な診療報酬の抜本的引上げを要求して行く。

ほう、社会保険研究所、新日本法規出版の書籍・出版物を会員価格で斡旋した。

共済制度の普及や研究会・セミナーの開催、M&Aネットワークの共同購入、会員限定の出版物斡旋など、協会加入のメリットを広めた。

保団連事務局からの支援を得て、新規会員拡大に取り組んだ。

会員交流を目的とした協会の文化行事は開催できなかった。

保団連の若手のつごい、味わいと文化の旅、保険医写真展などを会員に案内を行った。

会費収入は減額・免除の扱いが増えてきているため、大幅な増収は出来ていない。また、共済他の手数料についても増収には至っていない。

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、会員に緊急のFAXアンケートを実施した。アンケート結果をもとに、国や県に要請書・要望書を提出・送付した。県知事あての要望書提出にあたっては、県内の9報道機関が取材し、大きく報道された。

会報の定期発行を行った。そのための編集会議を定期開催した。

組織拡大、共済募集にあわせ、未入会宣伝・共済宣伝を行った。

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

「伊方原発を止める香川の会」に参加した

「香川の教育を良くする香川県民会議」に参加し、教育キャラバン、署名に取り組んだ

医療機関へのゼロ税率適用を求める活動に取り組んだ

協会活動日誌

21年5月

- 11日(火) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年6月

- 3日(木) 歯科部会協会事務所
- 9日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年7月

- 1日(木) 歯科部会協会事務所
- 13日(火) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年8月

- 1日(日) 歯科セミナー「今さら聞けないメタルインレーからコンポジットレジン修復」(宇多津町開業)協会事務所
- 29日(木) 理事会(協会事務所)

21年9月

- 2日(木) 歯科部会(協会事務所)
- 5日(日) 歯科セミナー「スパーボンドシーラーによる根充」(西岡政道先生(高知市開業)ホテルマリノパレスさぬき)

21年10月

- 2日(土) 歯科セミナー「令和4年診療報酬改定に向けて」(今後の歯科医療はどのような方向を目指していくべきか)田辺隆先生(ホテルマリノパレスさぬき)
- 7日(木) 歯科部会(協会事務所)
- 10日(日) 「今さら聞けないメタルインレーからコンポジットレジン修復 part3」(竹内一貴先生(宇多津町開業))
- 13日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外

ほつ、社会保険研究所、新日本法規出版の書籍・出版物を会員価格で斡旋した。

協会活動日誌

21年5月

- 11日(火) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年6月

- 3日(木) 歯科部会協会事務所
- 9日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年7月

- 1日(木) 歯科部会協会事務所
- 13日(火) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎」(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授)他(ホテルマリノパレスさぬき)

21年8月

- 1日(日) 歯科セミナー「今さら聞けないメタルインレーからコンポジットレジン修復」(宇多津町開業)協会事務所
- 29日(木) 理事会(協会事務所)

21年9月

- 2日(木) 歯科部会(協会事務所)
- 5日(日) 歯科セミナー「スパーボンドシーラーによる根充」(西岡政道先生(高知市開業)ホテルマリノパレスさぬき)

21年10月

- 2日(土) 歯科セミナー「令和4年診療報酬改定に向けて」(今後の歯科医療はどのような方向を目指していくべきか)田辺隆先生(ホテルマリノパレスさぬき)
- 7日(木) 歯科部会(協会事務所)
- 10日(日) 「今さら聞けないメタルインレーからコンポジットレジン修復 part3」(竹内一貴先生(宇多津町開業))
- 13日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外

- 科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座教授) (ホテルマリンパレスさぬき)
- 21日(木) 医科歯科合同セミナー「臍癌に対する外科治療の最前線ー香川大学消化器外科の挑戦ー」岡野圭一先生(香川大学医学部消化器外科科学講座 教授)
- 28日(木) 四国ブロック国税局交渉
- 28日(木) 理事会(協会事務局)
- 31日(日) 保険医協会・歯科技工士会コラボセミナー「長期間機能する補綴装置の装着方法・再製作がななく、調整量も少ない補綴装置を目指して」松香芳三先生(徳島大学大学院歯薬学研究所 顎機能咬合再建学分野教授 鴨居浩平先生(徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門 技工室))
- 21年11月
 - 10日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授) 他(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 11日(木) 歯科部会(協会事務局)
 - 20日(土) 医科歯科合同セミナー「最新デジタルテクノロジーによる口腔外科治療」菅野貴浩先生(島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授) (ホテルマリンパレスさぬき)
 - 21日(日) 歯科セミナー「臍
- 顎骨を用いた実践口腔外科関連小手術ハンズオン A to Z」古木吉彦先生 (香川県立中央病院歯科口腔外科主任部長) 他
- 25日(木) 理事会(協会事務局)
- 21年12月
 - 5日(日) 「サンメディカル製品の効果的な使い方実習セミナー」サンメディカル講師(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 9日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授) 他(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 12日(土) 歯科セミナー「高齢者の歯科医療は健康長寿の延伸へ貢献できる」高橋慶壮先生(奥羽大学歯学部歯科保存学講座 歯周病分野 教授) (ホテルマリンパレスさぬき)
 - 23日(木) 理事会(協会事務局)
 - 22年1月
 - 6日(木) 歯科部会(協会事務局)
 - 8日(土) 歯科セミナー「歯科の将来、補綴の将来」市川哲雄先生(徳島大学大学院歯薬学研究所 口腔顔面補綴学分野教授) (ホテルマリンパレスさぬき) (Web併用)
 - 12日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔
 - 22年2月
 - 9日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」長谷川利聡先生 (香川県立中央病院歯科口腔外科) 他(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 10日(木) 歯科部会(協会事務局)
 - 20日(日) 第157回四国ブロック会議(Web参加)
 - 24日(木) 理事会(協会事務局)
 - 22年3月
 - 3日(木) 歯科部会(協会事務局)
 - 9日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授) 他(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 10日(木) 歯科セミナー「認知症対応力向上研修会」宮澤由美先生(汐田総合病院院長 横浜市) (ホテルマリンパレスさぬき)
 - 24日(木) 理事会(協会事務局)
 - 22年4月
 - 3日(日) 保団連研究部会 (WEB参加)
 - 7日(木) 歯科部会(協会事務局)
 - 13日(水) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本／基礎 A to Z」菅野貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授) 他(ホテルマリンパレスさぬき)
 - 28日(木) 理事会(協会事務局)

理事会日誌

- 21年5月理事会
 - ・協会組織、共済募集状況について報告がされた。
 - ・署名運動の取り組み状況が報告された。
 - ・国会要請行動オンラインの報告があった。
 - ・75歳以上高齢者窓口2割負担化について理事会声明の発出を確認した。
 - ・新型コロナウイルスに関する医科開業医会員アンケートの実施を確認した。
 - ・総会の諸提案、運営を協議した。
 - ・各部会、各会議、取り組みの報告があった。
 - ・各部会、取り組み等の日程を確認した。
- 21年6月理事会
 - ・協会組織、共済募集状況について報告があった。
 - ・第154回ブロック会議の報告があった。
 - ・新型コロナウイルスに関する医科開業医会員アンケートの中間報告があった。
 - ・総会の諸提案を確認した。
 - ・各部会、各会議、取り組みの報告があった。
 - ・各部会、取り組み等の日程を確認した。
- 21年7月理事会
 - ・協会組織、共済普及状況について報告がされた。
 - ・署名運動の取り組み状況が報告された。
 - ・保団連代議員会(オンライン)についての報告があった。
 - ・第50回保団連夏季セミナー(オンライン)についての報告があった。
 - ・第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)香川主務について確認した。
 - ・各部会、各会議、取り組みの報告があった。
 - ・各部会、取り組み等の日程を確認した。
- 21年8月理事懇談会
 - ・新型コロナウイルスに関する、医科開業医会員アンケートと2020年度学校保健後治療調査の集計報告があり、会報等に掲載する。
 - ・会報のWEB公開について検討した。
 - ・第1四半期決算報告が行
- 21年9月理事会
 - ・各部会、各会議、取り組みの報告があった。
 - ・各部会、取り組み等の日程を確認した。
 - ・保団連自治体キャラバンについて確認した。
 - ・協会組織、共済募集状況について報告がされた。
 - ・総選挙対策として政党及び予定候補者にアンケートを実施。結果は会報折込み、ホームページに掲載予定。
 - ・歯科会員署名「金パラ」、会員署名「診療報酬改善」は取組継続中
 - ・瀬戸内国際芸術祭について、理事会声明を発表することになった。
 - ・保団連組織部会・組織担当交流会について報告があった。
 - ・保団連病院有床セミナーについて報告があった
 - ・医療研フォーラムについて報告があった。
 - ・第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)香川主務について確認した。
 - ・前回の理事懇談会の審議内容を確認し、承認した。
 - ・各部会、取り組み等の日程を確認した。
- 21年10月理事会
 - ・協会組織、共済普及状況について報告がされた。
 - ・政党及び予定候補者のアンケートを会報折込み。
 - ・会員署名「診療報酬改善」は取組継続中、FAX及び会報折込みで勧奨。
 - ・全国会長理事長会議について報告があった。
 - ・ブロック高松国税局交渉について報告があった。
 - ・第156回保団連四国ブ
- 21年11月理事会
 - ・協会組織、共済普及状況について報告がされた。
 - ・協会が取り組んだ各署名が最終集約され、保団連に送付された。
 - ・75歳以上医療費窓口負担2割化中止署名の実施を確認した。
 - ・保団連研究部会について報告がされた。
 - ・社保協自治体キャラバンについて、2020年度より国民健康保険料軽減のための法定外繰入に対して、国の補助金が減額されていることが報告された。
 - ・上半期決算について報告された。オンライン会議化による支出と保団連からの補助金、退職金の支出が主な内容。
 - ・第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)香川主務について確認した。岩田健太郎・神戸大学教授が講師。
 - ・ブロック四国厚生局交渉について確認した。
 - ・歯科総行動集会について確認した。
 - ・保団連第50回定期大会に

ついで、藤原副理事長と綾坂理事が大会代表になることが確認された。

21年12月理事会

協会組織、共済募集状況について報告された。

協会が取り組んだ各署名が最終集約され、保団連に送付された。

保険でより良い歯科医療署名は、立憲民主党の小川議員が紹介議員を引き受けた。

診療報酬改定対策(厚生省・財務省・国会議員への要請、検討準備)が報告された。

第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)：香川主務について報告された。岩田健太郎神戸大学教授が講師。

共済制度運営委員会、共済担当事務局会議について報告された。

歯科総行動集会(国会行動)について報告された。

協会年金セミナーについて報告された。

保団連第50回定期大会について、確認された。藤原先生、綾坂先生が代議員。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、確認された。

各部会、取り組み等の日程を確認した。

22年1月理事会

協会組織、共済普及状況について報告された。

省・財務省・国会議員への要請、検討準備)が報告された。

協会年金セミナーについて報告された。

保団連組織部会について、報告された。

四国厚生支局交渉関係について報告された。

新型コロナウイルス感染症に関する要請書を県に提出する。県内自治体へ国保料の要望書が提出された。

22年2月理事会

75歳以上窓口2割負担中止の署名入りティッシュを各理事に配布する。

新点検検討会についてYouTubeで配信することになった。

補聴器購入補助をはじめ、難聴(聴)への自治体による制度拡充を求める要請書が提出された。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、報告された。

税務講習会について報告された。

第3四半期会計報告が提出された。

保団連の補助金により、ウェビナーと壁掛けスクリーンの導入が決定された。

22年3月理事会

協会組織、共済募集状況について報告された。

75歳以上窓口2割負担中止署名が803筆集約された。

月22日に送付された。

第159回四国ブロック会議が香川主務で、8月28日に開催されること確認された。

保団連専門部員について、研究部員は高徳理事、組織部員は森副理事長、新聞部員は三木理事、共済制度運営委員は原田理事を推薦することが確認された。

三井住友トラスト・カードで協会のクレジットカードを作成することが了承された。

「新型コロナウイルス濃厚接触での休業給付に関する留意点」について、全芸員に、FAX及び4月会報で周知することが確認された。

22年4月理事会

協会組織、共済募集状況について報告された。

75歳以上窓口2割負担中止署名が992筆集約された。

第41回協会定期総会を6月12日に開催することが確認された。記念講演は新型コロナウイルスの香川県の現状をテーマに行う方向で調整する。

第159回四国ブロック会議が香川主務で、8月28日に開催する予定。学習会講師に富田宏治(関西学院大学教授)を依頼することが確認された。

労務管理セミナーの開催について提案され、日程と講師について調整することになった。

子ども医療費無料化ネットワークの再結成について調整することになった。

二〇二二年度活動計画(案)

一、保険医の経営と権利を守る活動

診療報酬 今次改定の不合理是正を早急に行うことを求めるとともに、新型コロナウイルス感染症や新興感染症に十分対応できる医療体制を確保するため、抜本的な見直し、保団連とともに再改定を求める。

改定内容の極端に短い周知期間は異常であり、また、改定直前の疑義解釈、訂正通知など、医療機関が対応できない改定のあり方を改めるよう、関係省庁に要望して行く。四国ブロック共同で行う厚生支局交渉の要望内容に反映させる。

「新型コロナウイルス濃厚接触での休業給付に関する留意点」について、全芸員に、FAX及び4月会報で周知することが確認された。

三井住友トラスト・カードで協会のクレジットカードを作成することが了承された。

「新型コロナウイルス濃厚接触での休業給付に関する留意点」について、全芸員に、FAX及び4月会報で周知することが確認された。

補聴器購入補助をはじめ、難聴(聴)への自治体による制度拡充を求める要請書が提出された。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、報告された。

税務講習会について報告された。

第3四半期会計報告が提出された。

保団連の補助金により、ウェビナーと壁掛けスクリーンの導入が決定された。

22年3月理事会

協会組織、共済募集状況について報告された。

75歳以上窓口2割負担中止署名が803筆集約された。

22年1月理事会

種指導実施の方針が変化しており、会員に周知する。併せて情報を提供し、問い合わせや相談に丁寧に対応する。

また、他の協会や保団連と連携し、指導・監査にどうまらず社保に関する情報・動向、課題を共有する。

三、協会活動、組織の強化

組織、財政の強化 会員拡大による組織強化を重点課題とし、新規開業、若年層の入会を積極的に推進する。歯科歯科一体の組織に相応しい連携の取れた協会組織を目指す。引き続き年間組織到達目標を670名とする。

会費収入を中心とした健全財政の確立を図り、共済手数料やその他手数料の増収に力を入れる。理事会等の定期開催や機関紙の定期発行を続け、規約に定められた組織運営を行う。事務局は、執行機関である理事會を支え、協会の運営と活動を保証する体制、財政を確保する。

勤務医対策、女性医師・歯科医師対策 他協会の活動を参考とし、全国企画の参加者を増やすとともに、女性医師・歯科医師、勤務医対策をすすめる。

共済制度の普及 保険医の生活と医院経営を守るための制度として、保険医休業保障、保険医年金、グループ生命保険の普及・新規加入と、増口を推進する。

研究活動 活発に開催されている歯科のセミナー、懇話会等を引継いで推進することにも、保険診療研究会開催にこままる医科の研究会開催を検討する。

文化活動 保団連、四国ブロックの「文化の旅」企画、保険医写真展等の文化企画・行事を会員に案内し、積極的な参加を目指す。また、協会独自の会員懇親企画を充実させ会員相互の交流、親睦を図る。

四、保団連、四国ブロック活動

保団連大会やブロック活動計画に基づいた全国課題、共同課題に取り組むとともに、共同行動、諸企画への参加を一層強める。

協会単独では対応できない運動課題が増えており、全国の協会、保団連との連携、連携を強めなければならぬ。四国ブロック会議・事務局会議等を通して、運動・課題について情報交換や経験交流に努める。

五、憲法を活かし人権、民主主義、平和を守る活動

開業医宣言の立場から、民主主義と人権、平和の課題にも積極的に取り組む。憲法改定の動きを注視し、平和と民主主義を後退させざる動きに機敏な対応を行う。

核共有論や敵基地攻撃の議論が、ウクライナ問題に乗じて与党内で行われており、危険な動きとして注視し、機敏な取り組みを行う。

東電福島第一原発の確かな廃炉を求め、全国の原発の安全を政府、電力会社に求めるとともに、原発に頼らない再生可能エネルギーの確立を要求する。

人権や公害・環境問題について、全国の協会・保団連とともに活動を進める。

新点検検討会について報告された。

補聴器購入補助をはじめ、難聴(聴)への自治体による制度拡充を求める要請書が提出された。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、報告された。

税務講習会について報告された。

第3四半期会計報告が提出された。

保団連の補助金により、ウェビナーと壁掛けスクリーンの導入が決定された。

22年3月理事会

協会組織、共済募集状況について報告された。

75歳以上窓口2割負担中止署名が803筆集約された。

22年1月理事会

協会組織、共済普及状況について報告された。

診療報酬改定対策(厚生省・財務省・国会議員への要請、検討準備)が報告された。

第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)：香川主務について報告された。岩田健太郎神戸大学教授が講師。

共済制度運営委員会、共済担当事務局会議について報告された。

歯科総行動集会(国会行動)について報告された。

協会年金セミナーについて報告された。

保団連第50回定期大会について、確認された。藤原先生、綾坂先生が代議員。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、確認された。

各部会、取り組み等の日程を確認した。

22年1月理事会

協会組織、共済普及状況について報告された。

診療報酬改定対策(厚生省・財務省・国会議員への要請、検討準備)が報告された。

第156回保団連四国ブロック会議(オンライン)：香川主務について報告された。岩田健太郎神戸大学教授が講師。

共済制度運営委員会、共済担当事務局会議について報告された。

歯科総行動集会(国会行動)について報告された。

協会年金セミナーについて報告された。

保団連第50回定期大会について、確認された。藤原先生、綾坂先生が代議員。

第157回四国ブロック会議(愛媛主務)について、確認された。

各部会、取り組み等の日程を確認した。

22年1月理事会

協会組織、共済普及状況について報告された。